

令和6年能登半島地震における富山大学の被害状況とその対応

今回の地震において各方面から多大なるご心配とお見舞いを頂き、誠にありがとうございます。
現時点での本学の被害状況とその対応は以下のとおりです。

1. 被害状況（1月3日現在）

① 人的被害

死亡者 なし、負傷者 5名（学生4人、教職員1人、いずれも軽症）

② 物的被害

（施設関係）

- ・窓ガラス破損、天井裏漏水、亀裂（いずれも各1カ所）など
- ・全エレベーター停止（一部故障を除き復旧）
- ・使用禁止建物なし

（設備関係）

- ・確認中

（ライフライン）

- ・電気、ガス（一時停止、いずれも復旧）、水道（一部漏水、仮復旧）

2. 対応状況

① 学生

- ・安否確認（1月3日現在）約7割確認済み、残り約3割に対し報告を促すほか、被災地周辺に帰省又は居住している者を優先して電話確認中
- ・授業 1月3日学生等に通常通り実施することを通知

② 教職員

- ・安否確認（1月3日現在）約9割確認済み
- ・通勤困難者への柔軟な対応について通知

③ 附属病院

- ・DMAT 第一次隊を派遣（1月2日）
- ・被災患者の受入れ 30件（ドクターヘリによる搬送含む）
- ・1月4日から通常診療実施

④ 附属図書館

- ・書籍落下等により1月4～8日休館

⑤ 教育学部附属学校園

- ・1月10日始業（予定）

⑥ 避難者

- ・1月1日 五福キャンパスに約30人、杉谷キャンパスに約200人の避難者を受入れ（1月4日現在解消）

⑦ その他

- ・学長メッセージ発出（1月3日）

令和6年1月4日
富山大学危機管理室